

ありがとう

## 下広川小学校

福岡県広川町  
広川町立下広川小学校6年

### 西木 まなと

今、ぼくたち六年生は木の香りがする新校舎で勉強しています。下広川小学校は平成二十七年から校舎の建設がはじまり、来年の一月に一、二年生が新校舎に引っ越しをするこゝとですべて完成します。ぼくたち六年生は一足早く昨年から新校舎で勉強することになりました。新校舎は、すべて木でできています。ろうかも教室のかべも、柱も全て木でできています。だから新校舎に足をふみ入

れると、木の香りがします。

それだけではありません。新校舎には、今までの校舎にはなかったいろいろな良さがあります。まず、しょうこう口を入ると吹き抜けで広い多目的ホールがあります。天井も高く、まるでコンサートホールのような所です。ぼくたちは、今ここで全校合唱の練習をしています。次に目をひくのが給食室とランチルームです。給食室はガラス張りになっていて給食調理員の先生が作っている様子がわかります。できた給食はエレベーターで二階に運ばれ、大きなランチルームで他の学年と一緒に給食を楽しむことができます。そして、

何よりもぼくが一番気に入っている

のが図書館です。ぼくたちの図書館は建物全体が円柱の形になっていて、天井がとても高く、明るいです。初めて図書館に入った時、ぼくはびっくりして一目で気に入りました。図書館の外側には、地元の石人山のレリーフがうめこまれていて自慢の一つです。

このような楽しい気持ちで生活している時、ぼくたちの教室から旧校舎がこわされていく様子が目にとびこんできました。大きな機械で「がりがり」「ドーン」と、どんどんこわされていきます。むき出しとなつたコンクリートの断面をみると、

五年間通った旧校舎の思い出もうか

験ができるのは誇らしいことだ。」

んできます。二階の図書館から見え

と、話されました。ぼくもそうだ

た外の風景、ちよつと暗い理科室の

と思います。今までの先ばい方が大

すみにあった、ちよつとこわいがい

切に下広川小学校を使って、ぼくた

こつ、音楽室のベートーベンの顔、

ちにひきついでこられたからこそ、

ぼくにとつては5年間過ごしてきた

このぼくの楽しい旧校舎の思い出が

旧校舎の思い出がたくさんあります。

できたのだと思います。でも、もう

教室の窓から、けずられてこわされ

旧校舎はなくなります。これからは、

ていく校舎をみていると悲しく、さ

ぼくたちが新しい校舎の伝統をつ

みしい思いがしてきました。

くつていかなければなりません。ぼ

今年の入学式で、校長先生が話を

くたちは、あと五カ月で下広川小学

されました。「お父さんやお母さん

校を卒業します。新校舎をこれから

や、そのずっと前から受け継いでき

永く、大切に使うていく、そして、

た校舎と新しい校舎、ぼくたちは下

楽しい思い出をつくるという思いを

広川小学校の『これまで』と『これ

これから新校舎を使っていく下級生

から』両方を経験できる。こんな経

にひきついでいきたいと思ひます。